



# プロジェクトニュース

## シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

「プロジェクト発動!の会議開催」号

2016年11月1日号 (Vol.34)

2016年7月、CDCDプロジェクトを再開して6カ月、活動の進捗や、実施体制および各ステークホルダーの役割確認や協議を行う場として、中央レベルで合同調整委員会 (Joint Coordination Committee: JCC)、県レベル運営委員会 (Steering Committee: SC) が開催されました。

運営委員会はカンビア県で開催され、カンビア県議会のアラジ主席行政官が、準備から当日の司会まですべてを仕切って実施されました。同委員会では、これから実施するエボラ復興のためのパイロットプロジェクトの条件や選定の基準について合意されました。

合同調整委員会では、地方自治開発省大臣や次官、カンビア県議会、ポートロコ県議会および JICA 関係者出席のもと、運営委員会で合意された復興パイロットプロジェクトが統合された県開発計画 (復興支援版) の内容及び実施方針について議論され、合意文書に署名されました。



運営委員会で説明するポートロコ県首席行政官



合同調整委員会後、合意文書に署名：写真左からシエラレオネフィールドオフィス杉本企画調査員、ガーナ事務所米林次長、地方自治地域開発省カイカイ大臣、カロコ副大臣

プロジェクト実施に欠かせないこのような会合は、エボラ前から通算して7年目となる CDCD プロジェクトでは、既にカウンタパート主体で運営・開催されるようになっており、合意されるべき重要事項に関する理解も円滑で、安心して任せられる行政官が既に育成されてきています。

以上